

令和5年6月19日（月）

論理国語（2年教養体育系列）授業実践報告

国語「ぬくみ」 鷲田清一

教材の概要

本教材の「ぬくみ」とは「温み」であり「ぬくもり」、「あたたかみ」のことである。近代の都市生活は、経済的な豊かさの獲得と都市への大量の人口流入、社会のメディア化により、「つながり」や「ささえあい」といった「ぬくみ」を失ってしまった。そんな現代における自己と他者との関係性をテーマとしているのが本教材である。

〈授業のめあて〉

これまでの学習を振り返りながら、本教材での気づき、発見、疑問を整理し、読みを広げるとともに次の学習への見通しをもつ。

手立て①

各ワークシートのメモ欄に書き留めたことを振り返り、本教材での気づき、発見、疑問点をワークシートに整理する（内容における気づき、内容における疑問、評論文の読解方法における気づき）。



手立て②

ワークシートに整理したことをグループで共有し、Google ジャムボードを使用してクラス全体で共有する。



手立て③

本時を振り返り、次の教材において、本教材での学び（主に評論文の読解方法について）をどのように生かすかを考えることで、次時の学習への見通しをもつ。

